

ふくしま自治研修センター共同調査研究成果報告会

ふくしま自治研修センターでは、県内自治体等の特定の政策課題について、解決に向けた調査研究を支援する「共同調査研究事業」を実施しています。

平成28年度は、小野町と共同で「地域のニーズにあった地域公共交通サービスの調査研究」をテーマに取り組みました。

つきましては、下記により成果報告会を開催し、小野町とふくしま自治研修センター職員による研究成果を発表いたしますので、お知らせします。

報告後、『バス・タクシーの地域・住民ニーズ』、『デマンド交通とタクシー活用』といった、地域の公共交通に関する分野に明るく、多くの著作を発表しておられる、交通ジャーナリストで「NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長」の鈴木文彦氏による講演を予定しております。

多くの皆様の御参加をお待ちしています。

◆ 日 時 平成29年5月30日（火）13：30～16：00（13：00開場）

◆ 場 所 ふくしま自治研修センター大講義室（福島市荒井字地蔵原乙15-1）

◆ プログラム

第1部 共同調査研究成果報告

テーマ 『地域のニーズにあった地域公共交通サービスの調査研究』

発表者 小野町役場 企画政策課 主事 浅井 美穂
自治研修センター 政策支援部 主幹 伊藤 智美

第2部 講演

演 題 『公共交通としての一般タクシー活用戦略』
～タクシーを地域の足として定着させるには～

講 師 交通ジャーナリスト
NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長
鈴木 文彦 氏

（講演終了後）質疑応答及び聴講者との意見交換

◆ 対象者 福島県内自治体職員、公社等団体職員

◆ 申込方法 別紙の参加申込書に必要事項を記載の上、記載の宛先へお申し込みください。
講演終了後、質疑応答及び聴講者との意見交換を予定しておりますので、御質問・御意見があれば、別添の質問票を併せて提出願います。

◆ 申込期限 平成29年5月19日（金）

講師の御紹介



交通ジャーナリスト

NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長

鈴木 文彦 氏

(略歴)

1956年山梨県生まれ。東北大学理学部地学科卒業。東京学芸大学大学院修士課程(地理学)修了。フリーの交通ジャーナリストとして雑誌『鉄道ジャーナル』の連載のほか、交通専門誌に記事・論文多数。NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長を務める。

委員歴等

国交省『今後のバスサービス活性化方策検討小委員会(2006年度)』

国交省・日本バス協会『バス産業勉強会(2008年度)』

国交省『バスネットワークの将来像に関する研究会(2009年度)』

国交省『地域公共交通の活性化及び再生の将来像を考える懇談会(2016年度)』

国交省『モーダルコネクト検討会(2016年度)』

地域公共交通活性化・再生法法定協議会(山口市、東京都檜原村ほか多数)

地域公共交通会議(新宿区、八王子市、小平市ほか多数)

国交省東北運輸局地域公共交通東北仕事人

国交省中部運輸局地域公共交通コーディネーター

(財)運輸政策研究機構(現(一財)運輸総合研究所)公共交通アドバイザーなど。

著書『新バスシステム』(2005)

『バス・タクシーの地域・住民ニーズ』(2006)

『新制度 地域公共交通活性化・再生法』(2008)

『交通権(移動権)の保障制度』(2010)

『デマンド交通とタクシー活用』(2013)

(以上、株式会社地域科学研究会発行)

『日本のバス 100余年のあゆみとこれから』(2013 成美堂出版)

ほか多数

《お申込、お問合せ先》

(公財)ふくしま自治研修センター

政策支援部 (担当 仁後)

電話 024-563-7283 FAX 024-593-5714

E-Mail:shien@f-jichiken.or.jp